



平成19年8月5日発行
 企画・発行／富山県知事政策室広報課
 富山市新総曲輪1丁目7番地
 TEL.076-431-3131 (県民相談電話)
 FAX.076-444-3300 (県民相談ファックス)
 編集協力／株式会社チューエツ

○「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は
 〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課あて
 TEL 076-444-3134 FAX 076-444-3478
 E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください。
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>
 広報課ホームページ
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/index.html

「県広報とやま」は、4・6・8・10・11月(年5回)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。

contents

特集 富山型がん診療……………	2
クロスアップとやま 利賀芸術公園……………	3
とやま未来遺産 鴨川―サケを呼び戻すまちなかの川……………	1
とやま目安箱……………	1
とやまのごっこお ミニトマトのレモン漬……………	3
県政の動き……………	4
どこ行く?何する?お出かけ情報……………	4
テレビ・ラジオ 新聞チェックガイド 県政番組のお知らせ……………	4
県政クイズ……………	4



次代につなぐ とやま 未来遺産 vol.1

鴨川
 ―サケを呼び戻す
 まちなかの川
 (魚津市)



村木小学校の子どもたちと清掃活動



毎月第3日曜は「鴨川清掃デー」

未来を担う子どもたちと共にサケが回帰する川へ。

魚 津市街地を流れる鴨川は片貝川の支流。川底には水生植物のバイカモが育ち、鮎やヤマメが群れる清らかな川です。また、下流の川床から湧き出る片貝川の伏流水は「てんこ水」と呼ばれ、生活用水のほか、かまぼこ製造にも使われるなど、古くから人々の生活にも深く関わってきました。

この鴨川の美化環境に大きく貢献しているのが、「鴨川にもサケを呼び戻す」の皆さん。昭和63年2月の発足以来、地域の子どもたちと定期清掃やサケの放流などに取り組んでいます。現在では、魚津市内すべての小学校で稚魚の飼育が行われ、それぞれの地域の河川に放流するなど、会の活動は全市民的な環境教育へと広がり、平成12年には地域づくり団体自治大臣賞を受賞しました。

「サケが回帰する川に」とスタートした会の活動も、今年で20周年。これまでに回帰したサケは累計129匹となり、鴨川は地域のたからものとして大切に守り育てられています。

「鴨川にもサケを呼び戻す会」会長 谷口 喜博さん(魚津市)

20周年事業として「山、森、川、海に学ぶ」をテーマに、各地でサケの放流活動をしている団体や子どもたちとの交流や講演会などを計画しています。これからは「心豊かな子どもたちを育てよう」を合言葉に、美化活動や環境教育を通して心の交流を深めていきたいと願っています。



とやま未来遺産の
 お問い合わせは 県庁知事政策室 地域振興課 TEL076-444-3949
<http://miraisan.pref.toyama.lg.jp>

元気とやまキーワード
 「とやま未来遺産」とは? 富山県では、「地域のたからもの」を再発見し、地域の魅力づくりに向けた取組みを応援する「とやま未来遺産」発掘事業を進めています。平成19年6月に13の「とやま未来遺産」を選定しました。

「とやま目安箱」知事への意見・提案(県民)係まで
 ◎はがき・手紙 〒930-8501 県庁広報課
 ◎FAX 076-444-3478
 ◎インターネット
<http://www.pref.toyama.jp/form.html>

この件のお問い合わせ先
 県庁知事政策室
 TEL 076-444-4069

皆さんのご意見を
 お待ちしております。

「とやま目安箱」

また、今年度新たに、県と市町村が協力し、連携し、子育て支援活動に意欲のある方を対象に保育所や児童館など地域の身近な施設において、伝統芸能や昔遊びの教授、読み聞かせ活動などの様々なボランティア活動に参加していただく「子育てシニアサポート事業」に取り組んでいます。

今後とも、家庭、地域、企業、行政が一体となり、効果的な少子化対策・子育て支援に積極的に取り組んでいきたいと考えています。

A 少子化対策を進めるには、子どもを育む家族の素晴らしさが認識され、地域社会全体で子育て家庭を応援していくことが大切であると考えています。

県では、昨年10月から、家族のふれあいやコミュニケーションを深める機会を増やしていただくことを目的に、子育て家庭を地域社会全体で応援する「とやま子育て応援団」(裏面の優待券参照)に取り組んでいます。

また、今年度新たに、県と市町村が協力し、連携し、子育て支援活動に意欲のある方を対象に保育所や児童館など地域の身近な施設において、伝統芸能や昔遊びの教授、読み聞かせ活動などの様々なボランティア活動に参加していただく「子育てシニアサポート事業」に取り組んでいます。

Q これからの少子化対策として、ボランティアの活動など社会全体で子育て家庭を支えていく仕組みづくりが必要だと思いましたが、富山県ではどのようなことに取り組んでいますか?

特集 富山型がん診療

質の高いがん医療を 安心して受けられる社会へ

日本人の死亡原因第1位はがん。今や3人に1人以上が、がんにかかると言われていています。富山県においても、毎年約6千人の方が新たにがんにかかっています。また平成17年には総死亡数の約3割（3188人）の方が、がんで亡くなられるなど、まさにがんは県民の健康における最大の脅威であり、その克服は最重要課題となっています。

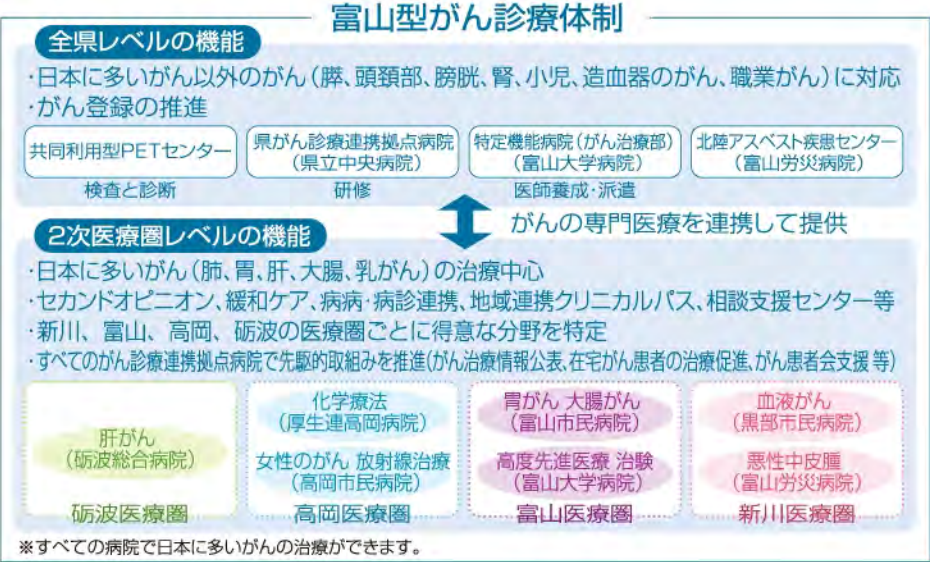
ポイント① 富山型がん診療体制とは

県では、県内8つの「がん診療連携拠点病院」を中心に、各医療機関がそれぞれの得意分野を活かして連携しながら、がん診療を行っています。また、がんの早期発見や治療法の選択に有効なPET（陽電

子放射断層撮影装置）を各医療機関や企業が共同で利用する全国初のシステム「共同利用型PETセンター」を整備するなど、新たな「富山型がん診療体制」を構築し、がん医療の均てん化に取り組んでいます。

ポイント② がん診療の連携

地域におけるがん診療連携を推進し、質の高いがん医療を受けることができる体制を確保するため、一定の要件を満たす病院が「がん診療連携拠点病院」に指定されています。



①がん専門医、看護師など医療
○がん診療連携拠点病院の主な役割

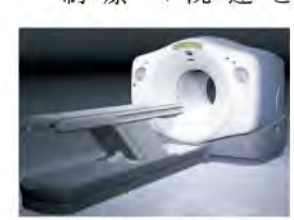


- がん診療連携拠点病院における先駆的な取り組み
- ①すべての病院で敷地内禁煙を実施
- ②院内がん登録の実施
- ③相談支援センターにおける患者や家族の療養上の相談等の実施

- ④がん患者会の強化及び患者・家族に対する相談支援体制の整備
- ⑤各病院内のがん患者会の相互交流を支援
- ⑥「がんホットライン」の開設
- ⑦専門医による医学講座シリーズをケーブルテレビで放映
- ⑧緩和ケア外来や外来化学療法の実施
- ⑨外来化学療法の充実
- ⑩患者の在宅療養を支援する体制の確立

- ⑪24時間在宅緩和ケアの実施に向け、緩和ケア外来がバックアップしながら医師会、訪問看護等とのネットワークを構築
- ⑫院内がん登録の精度の向上
- ⑬質の高い院内がん登録の整備に向け、県内の診療情報管理士の研修会や情報交換を支援
- ⑭共同利用型PETセンターと連携したがん診断・治療体制の構築
- ⑮PETセンター（本年11月末に開所予定）と

⑬9月は「がん征圧月間」ショー！
県では、がんの予防から検診・医療・調査研究に至る総合的ながん対策を進め、「富山型がん診療」の一層の充実に努めるとともに、9月の「がん征圧月間」には、がんの正しい知識の普及やがんの早期発見・早期治療のため、検診の受診勧奨などを行います。



●9月（がん征圧月間）のイベント案内

9/1（土） がんホットライン（無料電話相談）
日時：平成19年9月1日（土）13:00～16:00
利用方法：事前申込み不要。当日、フリーダイヤルに直接電話してください。（ただし、がん診療連携拠点病院の相談支援センターでも事前相談をファックス等で受け付けています。）
フリーダイヤル：0120-601315

9/2（日） がん情報サービス向上に向けた地域懇話会
主催：厚生労働省、国立がんセンター、富山県、県立中央病院
日時：平成19年9月2日（日）14:00～16:00
会場：県立中央病院 5階ホール（富山市西長江2-2-78）
参加者：患者及びその家族並びに住民、医療従事者等
申込み：事前申込みは不要。当日会場へ直接お越しください。

ケーブルテレビ「がん医学講座」の放送
「富山県のがん診療のいま～がん専門医が分かりやすく教えます～」
放送時間：約20分間
放送日時：9月のがん征圧月間を中心に複数回放送します。
（予定）【乳がん】 8月18日～8月31日までの期間内
【胃がん】 9月1日～9月14日までの期間内
【肺がん】 9月15日～9月28日までの期間内
※詳しくは、各ケーブルテレビの番組表をご覧ください。

●インタビュー

「がんと向き合い、前向きにがんと闘っています」
清水 貞子さん（富山市在住）

私は、昨年マンモグラフィーによる乳がん検診で精密検査が必要となり、乳がんと診断されました。9か月にわたって抗がん剤投与、手術、放射線などの治療を行い、今後は再発、転移発見のための定期検診を受けていく予定です。

私のがんは、発見不可能に近く、やっかいな細胞でしたが、がん検診のおかげで命を助けてもらい、検診の必要性を強く感じました。是非、定期的ながん検診を受けてほしいと思います。

また、私は、今年4月に県立中央病院にできた乳がん患者会「スマイルリボン」に参加しています。がん患者同士が月に1回集まり、お互いの悩みを話し、情報交換しています。この会で勇気や希望をもらい、生きる力となっています。これから会員の皆さんが明るく前向きになれるお手伝いをしたいと思っています。

富山県内の乳がん患者会（平成19年7月現在）

- あけぼの会 富山支部
〒930-0805 富山市湊入船町6-7
富山県民共生センターサンフォルテで奇数月に活動
Tel.076-422-4363 西田まで（20～22時のみ）
- ひまわりの会
〒939-8511 富山市今泉北部町2-1 富山市民病院内
Tel.076-422-1112（代）外科・乳腺外科外来の看護師まで
- We!すずらんの会
〒939-8208 富山市根塚町1-5-1 女性クリニックWe!Toyama内
Tel.076-493-5580 看護師の加藤まで
- スマイルリボン
〒930-8550 富山市西長江2-2-78 県立中央病院内
Tel.076-424-1531（代）3階北棟看護師の酒井まで
- ハッピーリボン
〒933-8550 高岡市宝町4-1 高岡市民病院内
Tel.0766-23-0204（代）外科外来 山谷まで

乳がん患者会では、患者同士が不安を打ち明け合ったり、医療情報を交換しているほか、医師等による勉強会も開催しています。一人で悩まず、お気軽にご参加ください。

世界に開かれた演劇の聖地

クローズアップとやま

利賀芸術公園

「利賀芸術公園」が、富山を元気にする。



「世界の果てからこんにちは」(演出:鈴木 忠志)

「利賀フェスティバル」の開催で知られる利賀芸術公園。古代ギリシャに原形を求めた「野外劇場」や日本最大規模の合掌造り劇場「新利賀山房」などを舞台に繰り広げられる演劇は、利賀芸術公園でしか観られない魅力にあふれ、世界をリードする多くの文化関係者からも高く評価されています。

ポイント1

演劇を介した 創造交流の場へ

昭和51年、世界的な演出家である鈴木忠志氏が、「東京一極集中では文化は枯渇していく。新たな可能性は地域にある」という考えから、早稲田小劇場(現・劇団SCOT)の本拠地を利賀村に移しました。その後、昭和57年に世界演劇祭「利賀フェスティバル」が誕生。以来、利賀村は世界の演劇人から「演劇の聖地」と呼ばれています。平成12年からは「利賀サマー・アーツ・プログラム」として、高校生の演劇講習や大学生インターゼミ、演出家コンクール、利賀演劇塾などが開催され、世代や国境を越えた創造交流・人材育成の場としても活用されています。

ポイント2

「舞台芸術特区 TOGA」に認定

「演劇の聖地」にふさわしい優れた舞台芸術空間を有する利賀芸術公園一帯は、昨年3月に全国初の



中高生舞台芸術鑑賞会

ポイント3

この夏、世界一流の舞台芸術を

利賀の演劇の魅力は利賀でしか体験できません。その迫力や感動は、世界で活躍する演劇人をくぎ付けにしてみました。今夏、皆さんも世界が高く評価する舞台芸術に生で触れてみませんか。「利賀フェスティバル2007」では、インド、イタリア、日本の演劇7作品を上演。壮大な仕掛け花火で野外劇場を祝祭空間に変貌させる「世界の果てからこんにちは」(演出:鈴木忠志)も、新演出で5年ぶりに再登場します。今夏はさらにBeSeTo演劇祭が開催され、中国、韓国の演劇も上演されます。



野外劇場での公演は大迫力!

●利賀フェスティバル2007 公演スケジュール

	8月17日(金)	8月18日(土)	8月23日(木)	8月24日(金)	8月25日(土)
利賀山房	17:00開演 [イタリア] 夢遊病患者たち 演出:M.S.ジョルジュエティ	16:00開演 [イタリア] 夢遊病患者たち 演出:M.S.ジョルジュエティ	17:00開演 [日本] 老貴婦人の訪問 演出:中島誠人		16:00開演 [日本] 老貴婦人の訪問 演出:中島誠人
新利賀山房		14:00開演 [日本] スズキ・メソッド デモンストレーションとQ&A	15:00開演 [日本] 二十七台分の棉花 演出:徳土 点	17:00開演 [日本] 二十七台分の棉花 演出:徳土 点	14:00開演 [日本] スズキ・メソッド デモンストレーションとQ&A
スタジオ	14:00開演 [日本] 鈴木忠志作品上映			14:00開演 [日本] 鈴木忠志作品上映	
野外劇場	20:00開演 [インド] マイ・アース、マイ・ラブ 演出:ラタン・ティヤム	20:00開演 [日本] 世界の果てからこんにちは 演出:鈴木忠志	20:00開演 [日本] シラノ・ド・ベルジュラック 演出:鈴木忠志		20:00開演 [日本] 世界の果てからこんにちは 演出:鈴木忠志
特設野外劇場				20:00開演 [日本] 犬神 原作:寺山修司	

お問い合わせ: (財)舞台芸術財団演劇人会議 利賀事務所 Tel.0763-68-2356

第14回
BeSeTo演劇祭 利賀開催
BeSeTo演劇祭が、3年ぶりに利賀に帰ってきます。中国、韓国の舞台作品が、利賀芸術公園にて上演されます。ご期待ください。
日程: 9月1日(土)

利賀フェスティバル 直通バスの運行 要予約
◎運行日: 8月18日(土)、25日(土) 「世界の果てからこんにちは」
8月23日(木) 「シラノ・ド・ベルジュラック」
◎運行区間: 富山駅北口・高岡駅南口から利賀芸術公園までの往復
◎バス代(往復・夕食込): 3,000円
◎予約・問合せ先: 利賀芸術公園 Tel. 0763-68-2028
※ 道路状況により到着時間が遅れる場合があります。

とやまのごっつお [協力]小矢部市食生活改善推進協議会

ミニトマトのレモン漬




ミニトマトがデザートに!?そんな戸惑い(?)も一瞬にして吹き飛ばすおいしさ。脇役になりがちなミニトマトを主役に昇格させた画期的なアイデアメニューです。今が旬のトマトの甘みと爽やかなレモンの香りは相性バツグン。トマトが苦手なお子様にもぜひ作ってあげてみてはいかがでしょうか。

- 材料・分量(4人分)
ミニトマト.....2パック
スライスレモン.....1個分
シロップ (水.....1カップ
グラニュー糖.....大さじ4
ミントの葉.....適量)
- 作り方 1人分/約72kcal
①ミニトマトはヘタを取り、楊枝で先を突いておく。
②①を熱湯にサッと通して冷水(氷水)にとり、皮をむく。
③小鍋に水とグラニュー糖を入れて溶かし、粗熱をとる。
④③を密閉容器に移してスライスレモンとミニトマトを加え、冷蔵庫でよく冷やす。
⑤器にスライスレモンを敷いてミニトマトを盛り、ミントを添えて出来上がり。

- ポイント
・湯通しは、皮がはじける感じを上げの目安に。
・食べごろは、冷蔵庫に入れてから半日程度。
・食べる時は、シロップをたっぷりかけて。
・凍らせてシャーベットにしてもGOOD!

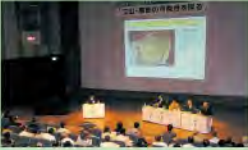
県政の動き


今後の予定


- 8/17・20 決める、夏! 若者のための合同企業説明会 (13:00~とやま自遊館・サンフォルテ)



来年3月大学等卒業予定の学生、転職・Uターンを希望する若者などを対象に参加企業約190社で開催します。
- 30 仕事と子育て両立支援セミナー2007 (13:30~ サンフォルテ2階ホール)
- 9/ 2 知事のタウンミーティング (14:00~ 射水市小杉文化ホール[ラポール])
- 16 森づくりボランティアの集い (10:00~ 南砺市桜ヶ池公園展望台周辺)
- 22 県民芸術文化祭2007総合フェスティバル (高岡文化ホール) (~24日)

最近の動き

- 6/ 2 とやま起業未来塾開校
- 6 越中とやま食の王国フェスタ実行委員会設立総会及び第1回実行委員会
- 6 第1回県消防広域化推進計画検討委員会
- 8 新観光キャッチフレーズ等選定委員会
- 8 木材試験場竣工式
- 10 エコライフ・アクト大会
- 12 県議会定例会 (~27日)
- 24 世界文化遺産セミナー(写真①)


①立山・黒部地域の世界文化遺産登録に向け、基調講演やパネルディスカッションを通してふるさとの魅力を再発見した。
- 28 とやま子育て家庭応援企業・団体連絡会
- 28 近代美術館魅力向上検討委員会
- 7/ 1 県民歩こう運動推進大会(写真②)


②約350人の参加者が射水市新湊地区を元気に歩いた。
- 2 中小企業との対話
- 6 活力とやま創造経済懇談会
- 6 立山・黒部地域の文化資産にかかる有識者懇談会
- 6 がん対策推進本部
- 8 知事のふれあい対話(内山邸)(写真③)


③内山邸ボランティア、生け花・茶会関係者等の皆さんと内山邸の魅力発信と活用について対話した。
- 10 地域産業活性化協議会
- 17 新潟県中越沖地震に係る部局長会議(写真④)


④新潟県中越沖地震の県内被害状況の報告後、今後の対応について確認された。
- 20 「くらしたい国、富山」推進本部第1回会議

どこ行く? 何する? お出かけ情報

富山県立近代美術館 富山市西中野1-16-12 TEL 076-421-7111
 開館:9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館:月曜、祝日の翌日(8/13、9/3は開館)
 企画展料金:一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料
 ※()内は20名以上の団体料金
 交通:富山駅(cic横)から富山ミュージアムバス(城南ルート)で約10分(無料)
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm>

アートの世界へようこそ 美術のおくりもの

●期間:~8月26日(日)

山種美術館所蔵名品展

東山魁夷、高山辰雄、上村松篁のほか、近・現代を代表する日本画家の作品を選び、近・現代の日本画の豊かな表現世界を紹介します。

●期間:9月1日(土)~10月8日(祝)



高山辰雄「中秋」1986年

富山県水墨美術館 富山市五福777 TEL 076-431-3719
 開館:9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館:月曜、祝日の翌日
 企画展料金:一般900円(700円)、大学生650円(500円)、小中高生無料
 ※()内は20名以上の団体料金
 交通:富山駅(cic横)から富山ミュージアムバス(呉羽山ルート)で約6分(無料)
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm>

国際公募:墨画トリエンナーレ富山 2007

●期間:~8月19日(日)

「日本近代画家の絶筆」展

死を前にした画家は最後に何を見、何を表現するのでしょうか。多彩な「絶筆」が見せるさまざまなドラマを感じてください。

●期間:8月24日(金)~9月30日(日)



下村観山「竹の子(絶筆)」昭和5年 東京国立近代美術館寄託

富山県【立山博物館】 立山町芦峯寺93-1 TEL 076-481-1216
 開館:9:30~17:00(入館は16:30まで) 休館:月曜、祝日の翌日
 交通:北陸自動車道立山ICから約30分
<http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/home.htm>

特別企画展「奥山巡見」

「黒部奥山廻りの様子」を主たる展示テーマとして、これまでに紹介されなかった貴重な資料を展示します。

●期間:7月21日(土)~8月26日(日)
 ●料金:一般200円、大学生160円
 ※展示館、眺望館、まんだら遊苑は別途



新川郡絵図

第8回 世界自然・野生生物映像祭

富山国際会議場(メイン会場)ほか、県内5会場

世界40カ国、334本の自然・野生生物映像の中から厳選された35本の入選作品が会期中に上映されます。

●期間:8月23日(木)~8月26日(日)
 ●料金:(メイン会場)1日券500円 4日券1,000円(高校生以下は無料)
 ●お問い合わせ:NPO法人 地球映像ネットワーク 富山事務局TEL0763-37-0003



テレビ・ラジオ・新聞チェックガイド 県政番組のお知らせ

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ

[毎週土曜] 9:30~9:45
 8月 4日 いのちの教育
 11日 生まれ変わった都市の水辺~富岩運河環水公園~
 18日 男女共同参画計画
 25日 福祉サービス第三者評価制度

元気とやま情報チャンネル 富山テレビ

[毎週日曜] 9:00~9:25
 8月12日 演劇にアート! 夏は利賃が面白い!
 19日 これでメタボ解消! 生活習慣を見直そう!
 26日 富山県警山岳警備隊

富山メモリアルナイト チューリップテレビ

[毎週火曜] 21:55~21:58
 県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

元気とやま情報スクエア FMとやま

[毎週月曜~金曜] 10:50~10:55、(再)17:30~17:35(最終金曜除く)
 [毎月最終金曜] 10:50~11:00、(再)17:30~17:40
 ※毎月最終金曜は「知事の県政ざっばらん」として、知事が最新の話題について語ります。

県からのお知らせ コミュニティFM各局

◎富山シティエフエム ◎ラジオたかおか ◎ラジオ・ミュウ ◎エフエムとなみ [毎週月曜朝、毎週金曜夕方] 各2分半

新聞広報 県からのお知らせ

8月4日(土)、11日(土)、18日(土)、25日(土)の朝刊各紙に掲載予定 ※4日(土)、18日(土)は、一部の朝刊には掲載しません。

富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

県政クイズ

Quiz

○の中に言葉を入れてください。
 ヒントはクロスアップとやまページ(3P)にあります。

8月に利賀芸術公園において、「○○フェスティバル2007」が開催されます。

正解者の中から5名の方に、「BeSeTo演劇祭 鑑賞券」をプレゼントします。

(公演日は9月1日。演目の選択はできません。)

- 応募方法…はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。
- 宛先…〒930-8501(住所記入不要) 県庁広報課「県広報とやま8月号クイズ係」
- 締切…8月17日(金)(必着)



上演予定作品「女中たち」(韓国)

当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。



毎月第3日曜日(とやま県民家庭の日)から始まる1週間を中心に、18歳未満の子どもの家族が協賛店の優待サービスを受けることができます。この機会にぜひ家族そろってお出かけください。

詳しくは、<http://kosodate.derideri.jp/>